

# 定例教育委員会会議録

(平成27年11月4日開催)

岡谷市教育委員会

# 定例教育委員会会議録

日 時 平成27年11月4日(水)  
午後1時30分

場 所 市役所6階601会議室

署名委員 小野委員 岩本教育長

## 【次 第】

### ○ 開 会

### ○ 教育長報告

### ○ 報 告

1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について (教育総務課)

2. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について【資料No. 1】 (教育総務課)

3. 岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定について【非公開】 (スポーツ振興課)

### ○ そ の 他

・行事等について

・その他

【次回開催予定】 12月3日(木) 定例教育委員会 9時 市役所6階 605会議室

### 出席委員

教育委員長 草間 吉幸、職務代理者 倉田 啓子、教育委員 小野 繁男、  
教育委員 橋爪 園美、教育長 岩本 博行

### 欠席委員

教育委員 太田 博久

### 事務局(説明員)

教育部長 吉澤 洋人、教育部担当参事 橋爪 哲也、生涯学習課長 小坂 英之、  
生涯学習課副参事 鮎沢 要一、スポーツ振興課長 小松 厚、  
教育総務課主幹 両角 秀孝、教育総務課主幹 高橋 卓、教育総務課主査 伊藤 清和

## <会議録>

### ○開 会

草間委員長： 皆さんこんにちは。先日は雨のなか子ども若者育成支援強調月間の街頭啓発にご参加いただきありがとうございました。私たちは岡谷工業高校に行きましたが、生徒会が例年になくすごく積極的に取り組んでいただきまして、生徒会の方から登校してくる生徒に率先して声をかけていただきました。回を重ねるごとに生徒会と学校と教育委員会の関係が非常に良い方向に向かっていると感じました。ありがとうございました。それでは11月の定例教育委員会を始めさせていただきます。

本日の署名委員は岩本教育長、小野委員になります。

### ○教育長報告

なにかしら急に寒くなってきて、障子越しのやわらかな日差しが恋しい季節となりました。学校では、音楽会、修学旅行、強歩大会など大きな行事が無事終了し、子どもたちの成長の姿がいくつか見られたとのうれしい報告がありました。まさに収穫の秋が各学校で実現できている感がいたします。

ところで、岡谷市では、最近、火災の発生が連続してありましたが、向寒の折、各学校をはじめ、教育委員会所管の各施設の防火につきましては十分に留意してまいりたいと思っております。

それでは、本日は生涯学習課とスポーツ振興課にかかわります5件の報告をいたします。

#### 1 学童クラブ事業について

学童クラブ事業は本年度から、利用対象学年の拡大と時間の延長を行い充実を図って実施していますが、特別支援学級や発達障がいのある児童の利用相談が増えてきています。

また、諏訪養護学校に通う児童・生徒は障がい児学童ひかりクラブで対応していますが、通常の学童クラブでは施設や指導員の対応で難しい面があります。

明日11月5日、全指導員を対象に、小学校の校長先生を講師に発達障がいや特別支援学級の状況について研修会を予定しています。

学校の先生方と指導員が、連携する中で共通の認識をもって、保護者に対して的確で丁寧な対応をしていきたいと思っております。

#### 2 市民総合体育館正面の車両スピード抑制対策について

以前から、市民総合体育館正面の構内道路は温泉スタンド等に通り返る車も多いことや、直線距離が長いことなどからスピードを出す車両が多く、徐行看板等を設置して啓発をしていますが、指定管理者で行う教室等に参加する子どもたちが増え、体育館正面で遊んでいる様子が見受けられることから、カラーコーンの設置や迂回表示等を行い、市民総合体育館正面の構内道路を迂回させることによるスピード抑制対策を11月1日より実施いたしました。

#### 3 スケート振興における日本電産サンキョー(株)との連携について

今年度に入り、日本電産サンキョースケート部より、本市のスケートのまちづくり事業に対し、指導者の派遣をはじめとする人的協力をいただけることとなりましたので、今年度のスケート教室や選手の強化を目的とした「おかやスピードスケートトータルサポートクラブ」をはじめ、学校スケート授業や各種イベント等への協力体制について、現在、株式会社やまびこスケートの森と共に調整を図っているところであります。

日本電産サンキョースケート部は、日本を代表する実業団チームであり、世界で活躍する選手や指導者が在籍しており、定期的に本市のスケート事業やイベント等に協力していただくことは、子どもたちが、スケートに興味を持ち、取り組むためのきっかけづくりに非常に有効と考えますので、今後も、本市のスケート事業への協力やアドバイスをいただき、連携強化を図るなかで、地域のスケート振興の活性化や競技力の向上に繋げてまいりたいと考えております。

#### 4 (公財) 岡谷市体育協会によるスポーツ施設整備の要望調査について

岡谷市スポーツ推進計画においては、すべての市民が安全で快適にスポーツに親しめるよう、公益財団法人岡谷市体育協会と調整を図るなかで、安全確保を優先し、計画的なスポーツ施設の整備に努めることとしておりますが、今年度より(公財)岡谷市体育協会では、スポーツ施設の整備等について、加盟する競技団体の要望等を公平に把握し、必要性や優先度等の高いものを総合的に判断するため、各競技団体を対象に施設整備に対する要望調査を実施し、取りまとめ行っております。

現在、それらの内容につきまして調整を図っておりますが、今後もこれらの調査結果や利用者等のニーズを幅広く把握するなかで、整備にかかる経費や必要な財源等を踏まえ、長期的な視点による施設整備をしてまいりたいと考えております。

#### 5 美術考古館の開館2周年について

美術考古館については、リニューアルから2周年を迎えました、観光客、市民の皆さん、沢山の方に足を運んでいただきうれしく思っています。今月は武井直也さんの彫刻展示、新世代アーティスト星加さんの展覧会があります。是非委員のみなさんも足を運んでいただければと思います。

以上私からの報告になります。

草間委員長： ただいまの5点の報告について質問等ありますか。

倉田職務代理： スピードスケートのトータルサポートクラブはどこに事務局があるのですか。

事務局： 特に事務局はありませんが、日本電産サンキョーさんの方にスケート部がありますので、そちらと、市の事業については、市、やまびこのスケートの森としても自主事業として行っている事業もあるので、そちらはやまびこスケートの森となっています。それぞれの事業の連携については話しをさせていただいて、サンキョーさんのオリンピック選手に来ていただいて子ども達に指導をしていただいたり今後いろんな機会を捉えてやっていきたいと思っています。

倉田職務代理： サンキョーさんからこういうことをしたいと話があった場合に、サンキョーさんとしては、市の事業については、市へ、やまびこスケートの森さんの事業についてはやまびこさんへ話をしていくことになるのですか。一箇所はどこか話をしていく窓口は無いのですか。

事務局： 今のところ1つの窓口を作っている形ではありませんが、今後統一的な形が出てくればそういったことも考えられると思います。今のところは個々の事業として行っています。

倉田職務代理： この事業の内容についてお話をしているのではありませんが、個々の事業が素晴らしくて、いろんなところにサポート体制があるので、コーディネートをするような場がこの事業に限らずあれば良いのかなと感じました。

草間委員長： 学童クラブの対象を拡大しましたが、ここで半年が経過して、人数は当初想定した人数となっていますか。

事務局： 高学年に拡大したときには見込みの部分では、低学年の1.3倍を見込んでいましたが、蓋を開けると高学年の部分は、1.17倍となり、見込みよりは少なくなっています。逆に1年生の利用は昨年に比べ増えているという傾向があります。いろんな要因が考えられますが、一つには事業所の雇用状況が良くなってきたということで、小学校にあがる時期にお母さん方が働き出す。そういった部分から増えているのではないかと読み取れます。クラスについては、バランスがありますので、学年の区切りを、1、2、3年生、4、5、6年生で区切るのではなくて、1年生で1クラス、3、4、5、6年で1クラスといった対応をしたりしています。

草間委員長： 学年としては1年が一番多いのですね。

事務局： 多いです。

草間委員長： そうすると1.17倍ということは想定より少なかったということですね。

- 事務局： 長地小は少し多い部分があります。また、夏休みに利用者が集中することがあって、課長自ら指導員の不足を補うこともありました。学校によっても違いがあると思います。
- 事務局： 学年で言いますと、6年生は全体の4人か5人しかいません。
- 草間委員長： 田中小の学童クラブは今建設していると思いますが、統合となっても子ども達の許容量は大丈夫ですか。
- 事務局： 統合した人数を見込んで最大で40人は利用できるように設計しています。
- 事務局： 許容量については、大丈夫です。
- 倉田職務代理： 学童クラブの場で、学習についての要望があると聞いて、県の研修を受けた際に学童クラブの中身も変わりつつあるといった話があるとおっしゃっていたかと思いますが、1年生がますます増えているという現状のなかで、学習へのサポートはようになっていくのかなと思いました。
- 事務局： 国の考え方として学童クラブと放課後子ども教室というものがあり、岡谷の場合は居場所づくり事業となるのですが、そこでは宿題を教えたり、勉強を教えたりいろんなことをしています、それを一体的にしていこうという国の考え方があり、その中で学童クラブのなかでも、教育の一部をやるという考え方もあるかと思います。岡谷市としてどうしていくかはこれからの検討となります。実際に学童クラブでも、低学年については、宿題をやる場を設けていますが、教えるという場という意味では教員免許保持者がいないので、補助的な内容に留まっているというのが現状です。これから学校と話し合う中でどのような形が良いか検討していきたいと思います。
- 事務局： コミュニティスクールを推進するという課題がありますが、その中で今申し上げました居場所づくり、学童クラブについても包含し、関係者を含めて、学校と地域と保護者で組織を作り、さらに信州型コミュニティスクールの考え方としては、コーディネーターを置いて、学校に対してどういう支援ができるかという検討を行う中で、学習支援についても挙げられるのではないかと思います。コミュニティスクールの中で、学校ができる形で推進していくというのも一つの方策としてこれから進むのかなと思います。
- 草間委員長： 他にはよろしいでしょうか。それでは、本日は議題がありませんので、報告事項に入りたいと思います。報告事項1 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について事務局より説明をお願いいたします。

## ○報 告

### 1. 岡谷小学校統合計画の取り組み状況について

(教育総務課)

<事務局より第9回の学校統合推進委員会の内容について説明。校歌、校章の今後の考え方、12月13日の学校説明会、施設見学会について説明>

草間委員長： ただいまの内容でご質問等あればお願いします。

倉田職務代理： 運動着は実際のものをご覧になられていますか。保護者目線ですと、購入のタイミングが気になるころだと思います。

事務局： 実際に見ていますが、質や、価格を見て今選べる最良のものを選定しています。更新のタイミングは、あくまで今ある物を大切に、買い換えるときには更新をというご案内をしています。

草間委員長： 校歌校章は統合後に検討していくということで良いのですか。

事務局： それについては、あくまで校長先生の思いや願いとしてお話をされた内容であるので、実際には、神明小、岡谷田中小のスタンスも違うので、これをきっかけに各学校の関係者で話し合いを進めていきましょうよという方向になっていくと思います。次回の統合



推進委員会ではそんなお話を出させていただきたいと思います。

草間委員長： 統合推進委員会は3月以降も継続していくという形で良いのですか。

事務局： 統合推進委員会の大枠は今年度で統合をすれば解消する内容だと思いますが、新しい学校づくりという意味で、活力ある学校づくり推進会議というものを立ち上げますので、今度はそれに移行をしながら、魅力的な学校づくりを進めて行くことになるかと思います。統合推進委員会の中でも、敷地の活用の課題は残るので、それについては、別途協議する場が必要だと思います。

草間委員長： 敷地については、教育部から建設水道部に移っていますが、あくまで内容については教育部と詰める中でということが良いですね。

事務局： 主催は建設水道部になりますが、地域への説明の部分もありますし、非常に大きな課題だと思います。まずは敷地の安全対策からですが、今検討を深めています。

草間委員長： 以上でよろしいでしょうか。よろしければ、報告事項2岡谷市教育委員会点検評価報告書についてに入ります。

## 2. 岡谷市教育委員会点検評価報告書について【資料No. 1】

(教育総務課)

<事務局より点検評価報告書の調製に至る経緯について説明。

### 【経緯】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検、評価、報告書の作成、公表が義務付けられており、これまではそれを行政報告書の作成に替えていたが、教育委員会として、より透明性を確保するために、ここで行政報告書から教育委員会の部分を抜粋し、点検評価報告書として調製し直したものを示した。

報告書の内容については、資料No. 1にもとづき説明。>

草間委員長： ただいまの説明についてご質問等ございますか。

小野委員： 評価という部分で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の第2項に教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとすると思っております。この辺について今後どのように扱っていくのか詰める必要があると思っております。

事務局： 昨年、文部科学省から教育制度改革について新教育長制度に移行するなどの切替についての通知があり、その中で、点検評価を公表するに当たっては有識者にアドバイスをもらう必要があるといった案内をいただいています。先進的なまち、大都市ではこの報告書に有識者のコメントを添えて報告書を出しているところがあります。岡谷市については、まずは他の内容と一緒に報告していたものを、教育委員会ということで抜粋により作成し、報告をさせていただきたいと思っております。有識者については、今後検討していくものになるかと思っております。

小野委員： 今後この点検評価報告書は、教育委員会での議決が必要となりますか。

事務局： 行政報告書がなければ議決が必要になると思っておりますが、行政報告書はすでに議会に出ている内容になるので、ここでは報告とさせていただきます。教育長に委任されている事務になるので、教育長の専決事項については、このような形で調製し、1年間の締めくくりをするということになります。

草間委員長： 新しい教育委員会制度の透明性という部分だと思いますが、これを出していくとこれに見合った計画等が必要になってくると思っております。

事務局： 県のように大綱をつくって、それを受けて毎年の教育方針を掲げ、一年仕事をするこの報告書の作成につながるというサイクルで考えています。ここで大綱ができるのでちょうど良いタイミングだと思います。

倉田職務代理： 評価は次年度の予算を決める時に行うのですか。

事務局： この内容は市として作った行政報告書と行政評価の教育の分野を切り取って調整したものです。市の事業は監査委員が監査をし、評価もし、公表されています。予算との関わりというともそういうことも捉えるか検討をさせていただいて、ひょっとしたらそれが加われば良いというものかもしれません。

小野委員： 教育委員会の教育長への委任事項以外の項目で、教育委員会において予算について意見を述べることという部分がある中で、なかなか行政の実態のなかではその部分は難しいところもあると思いますが、予算上も含めて委員の意見が反映できる形になればという感想を持ちました。

草間委員長： 以上でよろしいでしょうか。それでは、報告事項3の岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定に入ります。こちらの内容につきましては、12月定例会へ上程する案件でありますので、非公開とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは非公開とさせていただきます。なお、本日は傍聴者がおりませんので、引き続き事務局より説明をお願いします。

### 3. 岡谷市やまびこ国際スケートセンターの指定管理者の指定について (非公開) (教育総務課)

<事務局より、岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会からの答申を受けて、12月の議会で岡谷市やまびこ国際センターの指定管理者の指定について上程をしていく旨を説明。>

(非公開)

草間委員長： 報告事項は以上になります。他に、事務局から報告はありますか。それでは、次にその他ということで、事務局からお願いします。

#### ○その他

・行事等について (各課)

<各課より行事予定について説明>

・その他

<次回開催日の調整等>

橋爪委員： 来年度の予算編成にあたって、庁内全体で削減という新聞記事を読み非常に心配しているところですが、教育部ではどのようなところを削減していくのか。お考えを教えてください。

事務局： 今各課で原案をつくっていて、作業中ではありますが、それを今週中に教育長に見ていただこうと思っています。これから3年間は非常に厳しく、基金に積み立てていける体質に変えていくということで全市的に取り組んでいるので、来年から3年間は我慢の年となります。新しい取り組みをするためには、そのための財源を見つけて来ないといけません。学校の中でできることをメリハリを付けていくという事だと思います。

岩本教育長： 委員長職務代理の倉田委員ですが、2期という長い間教育委員として精力的にご尽力をいただき感謝しておりますが、今月末をもって退任となります。

後任は高木千奈美さんになりますが、倉田委員の思いを受け継いでいただけたと思いますし、我々も思いをしっかり受けとめながら進めて行きたいと思います。また教育委員をお辞めになってもいろいろなところでお会いして、お声を聞かせていただけるような気がしております。ありがとうございました。

草間委員長： 私からは、本日で倉田委員は最後の定例会ということですが、大変ご苦労様でした。倉田委員は、2期8年、3人の教育長のもとで、岡谷の教育を推進するというところで一生懸命やってきたわけでございます。委員長職務代理として、市民の立場、地域の立場、保護者の立場そして、行政の立場のなかで貴重なご提言、ご意見をいただきましてありがとうございました。倉田委員はとても明るい性格でございますので、この会の場がいつも明るくなり、また、活動力もあるお方でした。これで最後の定例会となりますが、今までのご尽力いただきましたことにお礼と感謝を申し上げます。

ここで、倉田委員から一言ご挨拶をお願いします。

倉田職務代理： みなさん8年間本当にありがとうございました。来月からこの風景を見られないと思うと、寂しいようなほっとしたような気分であります。主婦であった私が、行政の教育というところに少し関わることができて、好き放題意見を言わせていただきましてご迷惑をおかけしたとは思いますが、市民の気持ちを伝えて来られたのかなと思っています。まだまだやりたいことが山ほどありますので、橋爪委員と取り組みを始めたことと合わせて、頑張りたいと思います。後任の高木さんにつきましては、今からホームページなどご覧になっているようですので、宜しく申し上げます。本当にありがとうございました。

草間委員長： その他にございますか。本日予定していた内容は以上となります。これをもちまして、11月の定例教育委員会を終了とします。

終了15時17分

岡谷市教育委員会会議規則第23条により署名する。

平成27年12月3日

署名委員

小野 繁男

署名委員

岩本 博行

調製職員

吉澤 洋人